

## 入札監視委員会の審議概要について

平成27年度第1回中国運輸局入札監視委員会が、平成27年10月2日（金）に中国運輸局会議室において開催されましたので、その審議概要についてお知らせいたします。

### 平成27年度第1回中国運輸局入札監視委員会審議概要

開催日及び場所	平成27年10月2日 中国運輸局 会議室	
委員	水中 誠三（水中・三崎法律事務所 弁護士） 木谷 直俊（広島修道大学 教授） 三井 正信（広島大学大学院 教授）	
審議対象期間	前回報告分以降 ～ 平成26年8月31日	
抽出案件	総件数 41 件	(備考)
一般競争	21 件	
通常指名競争	0 件	
随意契約	20 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

質 問	回 答
①1者応札となっている契約について理由と対策は。	保守については、購入した業者が保守をするという実態があるのか他の業者から手が挙がらないことが現状である。ガソリンについては、中国5県で同一単価、共通カードで対応できる業者が少ないものと思われる。今後は対応可能な業者を探し、積極的に声掛けをするなどして複数応札となるよう努力したい。 自動車検査標章用インクリボンについては、製造販売業者が1社のみで他に取扱業者がないものと思われる。
②自動車検査標章用インクリボンの製造販売業者が1社のみであるのは中国地方だけか。	自動車検査標章用印刷用プリンタは、国土交通省が一括で同じ機械を導入・設置しており全国的な運用をしている。数年に一度機械の更新があるので汎用的なインクが使用できるよう検討していきたい。
③荷物運送契約の入札において、応札者が1者であるのはなぜか。昨年公示期間を延ばすよう指摘したがどの程度公示しているのか。長くとることにより少しでも状況は変わるのではないか。	前々回の指摘を受け、複数の業者に直接声を掛けたり、従来より長く公示したが、結果的に複数の応札に至らなかった。 公示期間は、毎年の決まった案件であれば長く設定することも可能であるが、急な案件の場合は最短の基準である入札日前日から10日間となる場合もある。
④1者応札の場合、価格は高くないか。	複数の業者から見積書を取るなど事前の市場調査により予定価格を設定するため、必ずしも価格が高くなるとは限らない。
⑤毎年同じ案件で入札価格が上昇していないか。	ほぼ横ばいである。
⑥4件ある官用車交換購入について、全てが同じ業者にならなかった理由は。	官用車は環境性能と価格を総合評価して決めている。純粋な競争の結果別々の業者が落札した。
⑦VJ事業については1社応札のものが多いが、理由は。大手の会社ばかりなのか。	海外事業が多くそれぞれのパイプがあるところが中心となる。こうした事業者はノウハウがあり公示期間内に企画を仕上げる能力に長けている。前回指摘いただいた事業者等に声をかける等の努力はしているが、会社によってはこうした事業の人材育成をしていない。応募の多い案件は海外メディア等のつながりの必要のないガイドマップ作成等でハードルが低いようだ。今回、新規事業者と契約できる成果も出たが引き続き努力が必要と考える。
⑧企画競争の入札は年度初めに案件の配布はするのか。	概要をホームページに掲示する。これにより事前準備を行ってもらおうという意味もあるが、公示期間短縮により各県との連携が日程的にスムーズになる。
⑨高額となっている案件があるがなぜか。	複数の事業又は複数のメディアが合わさったものは高額になっている。

(参考)

入札監視委員会は、入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するために、平成13年4月1日から施行された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」(平成12年11月27日法律127号)及び「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」(平成13年3月9日閣議決定)に基づき、中国運輸局に設置されています。

平成27年度 中国運輸局入札監視委員会名簿

(構成:3名)

委員会役職	氏 名	職 業
委員長	水中 誠三	弁護士
委員	木谷 直俊	広島修道大学商学部教授
委員	三井 正信	広島大学大学院社会科学研究科教授